
「間質性肺疾患を合併した関節リウマチ患者におけるヤヌスキナーゼ阻害薬と Interleukin-6 阻害薬の有効性、安全性、薬剤継続率の比較検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2014 年 10 月 1 日～2024 年 6 月 30 日に埼玉医科大学病院でヤヌスキナーゼ（JAK）阻害薬、または IL-6 阻害薬（トシリズマブ、サリルマブ）を投与された関節リウマチの患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

間質性肺疾患を合併する関節リウマチの患者さんにおける JAK 阻害薬と IL-6 阻害薬の継続率、有効性、安全性を比較検討することを本研究の目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027 年 12 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2026 年 10 月 19 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者情報はカルテに記載された診療情報（年齢、性別、身長、体重、罹病機関、併存疾患、併用薬、喫煙歴）、血液検査（リウマトイド因子、抗 CCP 抗体、KL-6）および画像検査（薬剤開始前後の胸部 CT 画像）の結果、治療内容（薬剤の種類や投与期間、投与中止理由、薬剤開始前後の関節リウマチの疾患活動性）などについて取得します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である秋山雄次が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

研究の対象となる患者さんに 検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 リウマチ膠原病科 秋山 雄次（研究責任者）
埼玉医科大学病院 リウマチ膠原病科 舟久保 ゆう
埼玉医科大学病院 リウマチ膠原病科 荒木 靖人
埼玉医科大学病院 リウマチ膠原病科 横田 和浩
埼玉医科大学病院 リウマチ膠原病科 松田 真弓
埼玉医科大学病院 リウマチ膠原病科 長尾 菜摘
埼玉医科大学病院 リウマチ膠原病科 志賀野 美翔
埼玉医科大学病院 リウマチ膠原病科 相崎 良美
埼玉医科大学病院 呼吸器内科 鎌田 浩史
埼玉医科大学 大学院医学研究科 生物統計学 仕子 優樹
埼玉医科大学 大学院医学研究科 生物統計学 大屋 タ希子

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

5. 試料・情報の提供方法等について

当院単独研究であり、情報（データ）の解析等もすべて当院で実施するため、研究実施中に患者さんの氏名、ID、生年月日などの個人情報が、外部に出ることはありません。公表時にも患者さんの個人情報保護については十分に配慮します。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 リウマチ膠原病科 秋山雄次

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1462（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：間質性肺疾患を合併した関節リウマチ患者におけるヤヌスキナーゼ阻害薬と Interleukin-6 阻害薬の有効性、安全性、薬剤継続率の比較検討

○研究責任者：埼玉医科大学病院リウマチ膠原病科 秋山雄次